

新津第一中学校CSだより



一中のホームページ

NO. 4

令和8年3月 発行

新津第一中学校区学校運営協議会事務局

今年度最後の学校運営協議会が2月18日（水）、新津第一中学校にて行われました。9名の学校運営協議会委員出席のもと、部活の地域移行の状況や1年生のインフルエンザ流行による定期テストの延期、一中米を使った幕の内弁当の販売、合唱部の静岡での大会出場等、直近の話題の後、後期の学校評価について報告がありました。評価の詳細については2月の一中だよりにある通りです。

つづいて、来年度の教育ビジョンについて佐藤校長よりお話がありました。今年度に引き続いた内容に、下記の項目が加わりました。

保護者・地域とともにWell-Being～働き方改革の先には「子ども達と向き合う時間の確保」～

【働きやすさ・働きがい】 心身の負担軽減（時間外勤務の解消、休暇取得の促進、時差勤務の推奨、会議・行事等の精選、勤務時間外の電話対応）

【部活動の地域展開】 子どもたちがいきいきと活動できる環境づくり（地域人材の活用、支援体制づくり）

また、『学校保健報告』として、SNS視聴が市の平均より高いことが報告されました。出席の運営協議会委員より、脳への影響やいじめにつながりかねないこと等の情報提供がありました。不適切な使い方等を指導してもらいたいということに加え、家庭にも学校だよりを通じて知らせてほしいとの意見が出ました。



地域と学校パートナーシップ事業推進会議

第2部は、今年度の『地域と学校パートナーシップ事業』の事業報告の後、第一回会議同様に、地域の皆様と生徒会の4人の生徒も参加して、意見交換を行いました。

生徒に今後地域でやってみたいことを発表してもらったところ、積極的に地域と関わっていききたいという趣旨の声をたくさん聴くことができました。生徒から出た声の一部です。

- ・ 地域清掃イベントに参加して地域の人と交流したい
- ・ 地域で仕事体験がしたい
- ・ 祭りに参加し、お囃子も体験したい
- ・ 地域の方が一中のイベントに参加してもらえたら
- ・ 商店街のシャッターに絵を描くなどして盛り上げたい

地域からも、求めていたことと一致する、協力したい、思いに応えたいとの声がたくさん挙がりました。

生徒の思いと地域のニーズがマッチングできそうな、活発な会議となりました。

